

# 第66回大会剣道用具確認証（8月10日提出）

## 1) 竹刀関連

- 竹刀の長さ（全長）が適正
- 竹刀の重さが適正
- 竹刀の先革先端部の太さ（対辺）が適正
- 先から8cm部分のちくとう部の太さ（対角）が適正
- 先革の長さが適正
- 中結の位置（＝全長の約1/4）が適正
- 各ピース（竹）の間隙がない
- 破損・ささくれはない
- 不当な付属品を使用していない
- 安全性を著しく損なう加工・形状変更をしていない

## 2) 小手関連

- こぶしと前腕（肘関節から手首関節の尺骨側（最長部）の1/2以上を保護している
- 小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さは小手ぶとん部最長部と最短部の差が2.5cm以内である
- 小手頭部・小手ぶとん部の十分な衝撃緩衝能力がある

## 3) 面関連

- 肩関節の保護ができる布団の長さが確保されている
- 面ぶとんの十分な衝撃緩衝能力がある

## 4) 剣道着関連

- 袖の長さについて、肘関節の保護ができる（構えたときに肘関節が隠れること）

上記の確認項目に対する結果を、下欄に記入をしてください。

都道府県名	
-------	--

	氏名	確認		氏名	確認
先鋒		不備がある・ない	男子個人		不備がある・ない
次鋒		不備がある・ない	女子個人		不備がある・ない
中堅		不備がある・ない			
副将		不備がある・ない			
大将		不備がある・ない			